

被扶養者認定に関する申立書 A 兼 誓約書 (配偶者・子)

記号	番号	被保険者氏名	所属部署名
----	----	--------	-------

I.申請する家族

氏名

年齢

続柄

II.今まで加入していた健康保険組合は？

(健康保険組合)加入

1 被保険者本人として加入

2 被扶養者として(誰の被扶養者? 続柄:氏名)

3 任意継続

4 国民健康保険

III.今回扶養することになった理由

続柄:入籍していない配偶者や養子縁組していない子供は同居が条件のため、世帯全員記載の住民票添付

→ 1、喪失証明書や離職票、源泉徴収票等喪失日がわかるものを添付

3、雇用保険被保険者証の写し添付

4、変更時点での勤務内容証明書添付

6 その他

1 退職したため

2 結婚したため

3 雇用保険受給終了のため

4 収入減・雇用形態の変更

5 配偶者等の新規入社のため

令和年日月日退職

令和年日月日入籍

令和年日月日受給終了

令和年日月日より減または変更

令和年日月日入社

IV.退職後の給付金の受給について

雇用保険受給中は、被扶養者認定することができません。受給終了後、申請してください。

1 雇用保険の受給状況

→ 離職票や雇用保険受給者証の写し添付

① 受給する

② 受給しない

③ 受給中又は

受給終了

日額:円

受給期間:令和年日月日～年日月日

2 給付金の受給状況

→ 支給決定通知書写し添付

① 受給する

② 受給しない

③ 受給中又は

受給終了

日額:円

受給期間:令和年日月日～年日月日

V.お子さんを扶養に入れる場合

● お子様の扶養義務は両親の双方にありますので原則、年収の高い方の被扶養者となります。

配偶者の有無

→ ① 未婚 ② 死別 ③ 離婚

・養育費(円/月)

・遺族年金の有無は? 有・無

配偶者の収入(円/年)

配偶者の職業(会社員・自営業・無職)

VI.今後の収入について

1 無

→ ア.大学・各種学校に在学

イ.家事・子育てに専任するため

ウ.就労不能

エ.自営業廃業

オ.一時的な労働力の喪失または失業の状態

→ ア.在学証明書又は学生証の写し

ウ.障がい者手帳の写し

イ.医師の診断書

エ.税務署の受領印入り廃業届

を添付

2 有

→ ア.給与収入

イ.不動産収入

ウ.年金・恩給

エ.厚生・国民・恩給

オ.農業者・遺族・障害

内容:

→ ア.最新の給料明細3か月分

イ.所得証明書

ウ.最新の年金支払い通知書写し

エ.所得証明書

添付

● 60歳以上の方で現在、年金を受給されていない場合

a ()歳から受給予定

b 今後も受給予定なし→理由を下記VIIIへ記入

VII.別居の場合の生計負担について

→ 『別居認定のための送金申告書』を記入し、添付してください。

单身赴任や長期出張、子どもが学生で進学による別居の場合は必要ありません。

VIII.申請に関する申立

今回、扶養申請することになった理由や、収入の有無の理由、就労状況等、上記を踏まえ詳細に記入願います。

未記入での提出の場合、認定できませんのでご承知おきください。